

経験から学び、 チームを強くする



第20回
日本e-Learning大賞
DX新入社員育成特別部門賞
受賞



週報も1on1も、ぜんぶまとめて
リフレクション・マネジメントシステムへ

チームタクトとは？

経験から学ぶ「振り返りメソッド」と

チームを強くする「学び合いプラットフォーム」で構成された
リフレクション・マネジメントのためのシステムです。

一方的な報告、過負担といったこれまでの週報や1on1の問題を解決した上で、
個人の経験を教訓化したり、チームの創造性を高めたりする振り返りができます。

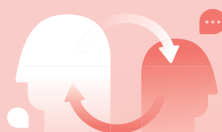
また、弊社が提供するオンボーディングや運用代行、コンサルティングなどの
人的サポートと組み合わせることにより、
振り返りの効果をさらに高めることもできます。



リフレクション・マネジメントシステム (RMS)

経験から学ぶ

振り返りメソッド



チームを強くする

学び合いプラットフォーム



人的サポート

オンボーディング

運用代行

コンサルティング

teamTakt
1分でわかるチームタクト

1分でわかるチームタクト

動画を視聴する



チームタクトで変わる！

■ チームタクトで「メンバーの仕事の進め方」が変わる

他者からの学びを促す 振り返りの型

ついつい、似たような失敗を繰り返してしまう。
けど、どんどん新しい仕事がやってくる。

こんなとき、チームタクトの**振り返りの型**を使えば、
一人ひとりが業務で学んだことを、
チーム内で共有しながら教訓化することができます。

一方的な報告のみの週報とは異なり、
他者からの学びを促すことで、
失敗の再発を防止することはもちろん、
さまざまな成功を再現できる個人と組織に導くことができます。



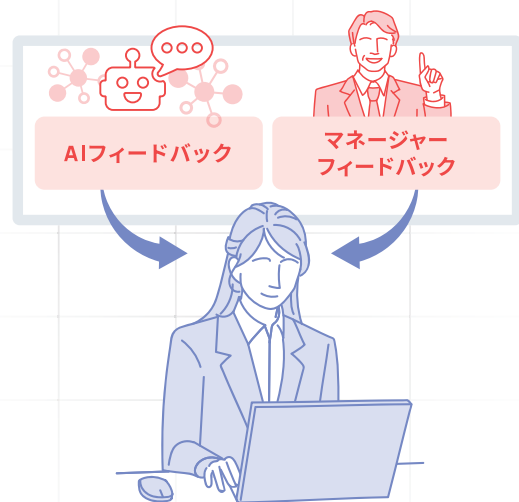
■ チームタクトで「マネージャーのチーム運営」が変わる

マネージャーの負荷を軽減 AIフィードバック

マネージャーになって、責任を感じている。
けど、必要な研修は受けていないし、何より時間が足りない。

こんなとき、チームタクトの**AIフィードバック**を使えば、
メンバーの振り返りをAIが解析し、
目的達成に向けたフィードバックをしてくれます。

一人ひとりのメンバーと時間をかけて口頭でやりとりする1on1と比べ、
効率的かつ具体的なフィードバックを行うことができます。



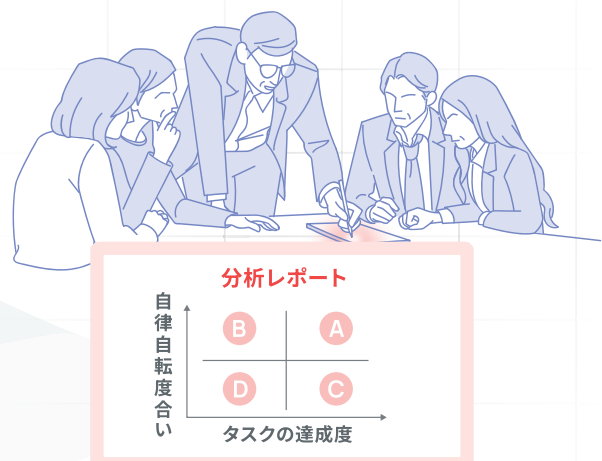
■ チームタクトで「組織状態の把握と対策」が変わる

サポートすべき人がわかる 分析レポート

業務の内容や遂行状況は、メンバーによって異なる。
けど、誰を優先的にサポートすべきかわからない。

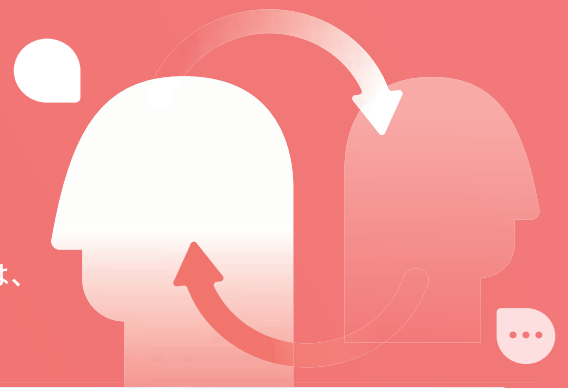
こんなとき、チームタクトの**分析レポート**を使えば、
一人ひとりの振り返りから良い兆しや悪い兆しを発見し、
仕事の進め方と達成度からメンバーの状態を分類できます。

アンケート型のサーベイなどとは異なり、リアルタイムかつ
客観的な情報に基づいて、サポートすべき人が分かります。



振り返りメソッド

従来の振り返りの手法である週報や1on1とは異なり、チームタクトには、振り返りの質を高めたり、学び合いを促すための仕組みがあります。



個人の振り返り

G-POP

G-POP=Goal,Pre,On,Postの頭文字

G-POPとは、成功・失敗のポイントを学び、仕事の成功確率を高める個人の振り返りの型です。

G-POPの構造

Goalを常に意識し

Pre (事前準備)
に時間を使い

On (実行)
しながら修正し

Post (振り返り)
から学ぶ

※G-POPは、株式会社中尾マネジメント研究所の登録商標です。



振り返りを通じ、成功の再現性を高め、失敗の再発を防止できる人が育ちます！



チームでの振り返り

ぐるり

ぐるり=グループリフレクションの略

ぐるりとは、メンバーの内省を深め、メンバー間の関係の質を向上させるチームでの振り返りの型です。

ぐるりの流れ

- 1 本人が業務を振り返る
- 2 他者から感じたことをコメントしてもらう
- 3 AIで可視化したデータを用いながら、本人の振り返りをフィードバックする
- 4 本人が気づきとともに教訓化する

※上記を人数分繰り返す



内省と対話の掛け合わせにより、相互に学び、高め合うチームが育ちます！



■ 全社での振り返り

リフリフ

リフリフ=リフレクション オブ リフレクションズの略

リフリフとは、各チームの状況を共有し、施策や制度の見直しを行う全社での振り返りの型です。

リフリフの流れ

- 1 各マネージャーから各チームのぐりりの状況を発表する
- 2 ほかのマネージャーからそれに基づいたコメントをもらう
- 3 AIで可視化したデータを用いながら、各チームの良い兆しと悪い兆しを共有する
- 4 各組織または全社における対策を考える



良い兆しや悪い兆しをいち早く把握し、改善サイクルを回す会社が育ちます！

振り返りの範囲（個人・チーム・全体）に応じた導入パターン

G-POPによる個人の振り返りを起点に、段階的な導入でチームを強化することができます。
まずは週報をG-POPに置き換えることから始めませんか？

導入パターン1

G-POP（単体利用可能）

個人の自律
（セルフマネジメント）

導入パターン2

G-POP + ぐるり

メンバー間の
気づきの共有、学び合い

個人の自律
（セルフマネジメント）

導入パターン3

G-POP + ぐるり + リフリフ

組織の兆しの把握、
フォローすべきメンバーの特定

メンバー間の
気づきの共有、学び合い

個人の自律
（セルフマネジメント）

チームを強くする

学び合いプラットフォーム

従来の振り返りの手法である週報や1on1とは異なり、チームタクトには、振り返りの質を高めたり、学び合いを促すための仕組みがあります。

学び合いを促進するWebアプリ

- 目標や振り返りをシートに書き込み、チームで共有することができます。＜アウトプット一覧＞
- シートを横断的に分析し、よく使われているキーワードを抽出することができます。＜ワードクラウド＞
- シートにいいねやコメントができるため、お互いに励まし合ったり、気づきを交換することができます。＜いいね・コメント機能＞
- シートを閲覧、いいね、コメントした結果はログで残り、学び合いの活性状況が可視化されます。＜交流マップ＞



｜ アウトプット一覧

シートをリアルタイムに俯瞰して確認できます。シートは名前順や提出順などで並び替えることができます。

｜ ワードクラウド

シートに記載されたキーワードを一覧で表示します。使用頻度が高いほど、キーワードが大きく表示されます。

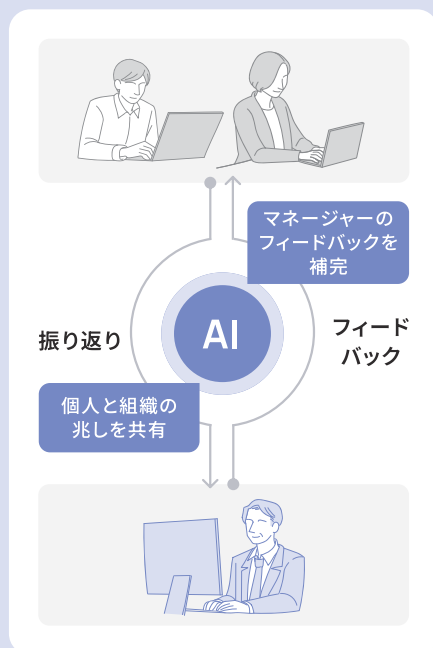
｜ いいね・コメント機能

シートにいいねでリアクションしたり、コメントやファイル添付をすることができます。

｜ 交流マップ

メンバー同士の閲覧・いいね・コメントをし合っている活動を、クモの巣状のマップと散布図で可視化します。

多角的な視点でのAIフィードバック



振り返りAI分析

経験学習サイクルの振り返りの観点に基づき、メンバーの振り返りをAIが分析して判定します。



書き方支援AI



コーチングAI



教訓支援AI



社会人基礎力AI



兆し発見AI

個人と組織の状況を把握する分析レポート

G-POPレポート

個人のG-POPシートを数週間分束ねて、「解像度」「達成度」「振り返りの質」を評価します。これにより、メンバーは、仕事の進め方について多くの気づきを得ることができます。



／ 経験学習サイクルを習慣化させる ステップ & サポート ／

ステップ01

マネージャーとメンバーでの
目標設定



サポート

- ・ KPI設計のためのワークショップ
- ・ スキルマップ作成のコンサルティング

ステップ02

メンバーによる
業務の計画・実施



サポート

- ・ 経験学習フォーマットの提供
- ・ 計画作成のオンボーディング

ステップ03

個人および
チームでの振り返り



サポート

- ・ プラットフォームの提供
- ・ グループリフレクションの運営代行
- ・ AIによるフィードバック

ステップ04

マネージャー間での
状態の共有と打ち手の検討



サポート

- ・ 分析レポートの提供
- ・ マネージャーミーティングの設計

■ 2週間無料お試し体験実施中!

お気軽にお問い合わせください



チームタクト公式サイト 🔍

<https://www.teamtakt.biz/>



社 名 株式会社コードタクト (英語表記 codeTakt Inc.)

住 所 〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-4 大場ビルA館2階b室
※創業以来、社員のほぼ全員がフルリモート勤務

電話番号 03-4446-5014

代 表 者 代表取締役 後藤正樹

株 主 NTTドコモビジネス株式会社

設 立 2015年1月

事業内容

どんな授業でも、学び合える 授業支援クラウド「スクールタクト」
経験から学び、チームを強くする リフレクション・マネジメントシステム「チームタクト」

主要取引先

株式会社NTTドコモ/NTTドコモビジネス株式会社/株式会社NTTデータ/生活協同組合コープさっぽろ/日本たばこ産業株式会社/大成建設株式会社/株式会社シェイク/株式会社文教センター/一般社団法人EMS



第20回
日本e-Learning大賞
DX新入社員育成
特別部門 受賞



第18回
日本e-Learning大賞
オンライン授業支援
特別部門賞 受賞



第13回
日本e-Learning大賞
EdTech特別部門賞
受賞



総務省
先導的
教育システム
実証事業に採択